



— 第30号 —

# 地域・だいがく連携通信

## — 神戸大学地域連携ニュース —

神戸大学地域連携推進本部

〒657-8501

神戸市灘区六甲台町1-1

TEL : 078-803-5391

FAX : 078-803-5389

E-mail : ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp



## 地域連携推進本部にボランティア支援部門が発足しました

令和3年10月、神戸大学のボランティア・社会貢献活動をサポートするボランティア支援部門が移管され地域連携推進本部がスタートしました。ボランティア支援部門ではボランティア・社会貢献活動に関心ある学生の相談と団体へのマッチング、学内の学生たちが取組む多様な団体のボランティアや教職員のボランティア活動を地域や自治体、社会福祉協議会、NPOなどと連携を図りながら応援しています。ここでは多様なサポートの内、ボランティアスタート支援、登録ボランティア団体の仕組みと助成金について紹介します。



### ■ボランティア・社会貢献活動スタート支援

個人的なボランティアの始め方や学内外のボランティア活動について面談やEメールでの相談が寄せられています。これまでも学内団体の紹介や学外のNPO団体と繋げるなど、多様な支援があります。

### ■登録ボランティア学生団体の応援

神戸大学学生ボランティア団体の活動支援を目的とした登録制度があります。20を超える兵庫県内外で農業、災害、地域福祉、国際、多世代交流、学習支援など多様な分野で活躍する団体が登録しています。“ボラカフェ”（ボランティアカフェ）や“新歓”（新入生歓迎会）を合同で開催したり、案内チラシの印刷やイベント時にカメラ・ビデオ、プロジェクター、テントほかの備品を貸し出したり、活動相談にも乗ります。

### ■助成金とサポートの仕組み

神戸大学には「学生地域アクションプラン」をはじめ学生の活動支援を対象とした助成金の仕組みがあります。そのほか、灘区役所、ひょうごボランティアプラザ、民間基金など学外の助成金情報の提供や申請書の作成支援も行ないます。



— ALL HAT ひょうご防災フェスタ2022 シンポジウム型ステージイベント —

### つなぐ、地域と大学の27年

神戸大学災害・復興ボランティアの全国展開と地域連携のこれから

2022年10月23日(日) 10:30~12:00

主催：神戸大学地域連携推進本部

### ■活動報告の機会づくり 学生ボランティア活動報告の場を学内外で設けています。

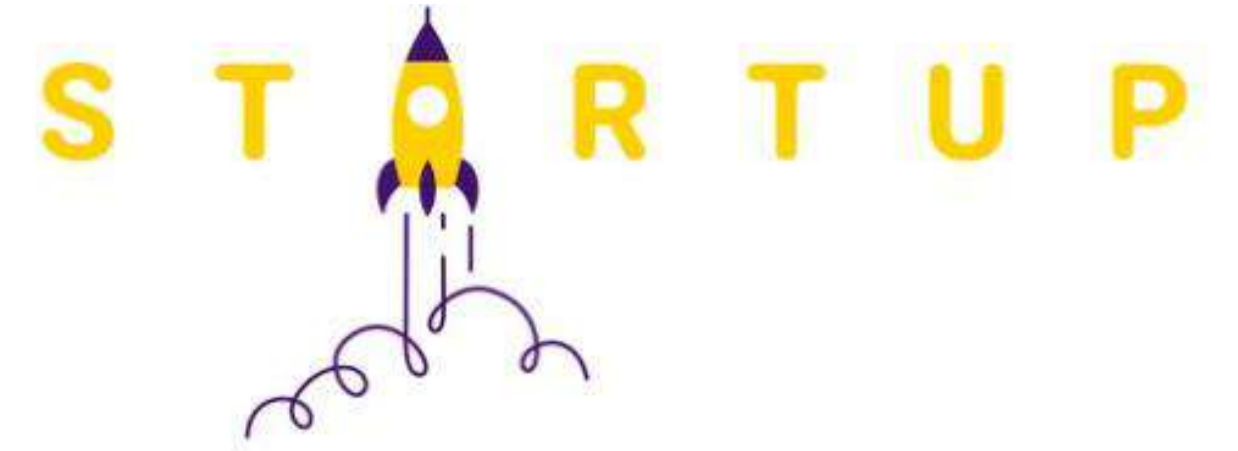
令和4年10月22・23日には、人と防災未来センター等で開催される「ぼうさいこくたい2022」ポスター出展や「ALL HATひょうご防災フェスタ」において災害ボランティアシンポジウムを開催します。

令和2年新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての活動制限は学生生活に影響をもたらし、中でも、ニーズに沿って直接的な交流を実践するボランティア活動は、コロナ禍による受入れ地域への配慮から多くの団体が現地での活動を自粛してきました。今年度に入り、制限が徐々に解かれたことで活動が戻ってきています。

気軽にボランティアや社会貢献活動への質問をお寄せください(^-^)/

# 地域連携センターが新たに発足しました

## ■海事科学研究科 ■国際文化科学研究科



### ■海事科学研究科地域連携センターの設立経緯と活動

海事科学研究科の広報・社会交流推進委員会が従前より行っている活動を、地域連携センターの活動として位置づけなおし、同センターが新たに設置されました。

海神丸お披露目式、こどもいろいろ体験スクール、兵庫県立尼崎小田高等学校への研修、神戸市海洋人材育成プログラムへの協力など、同センターの今年度の活動を紹介します。



#### ①海神丸お披露目式

4月27日、新練習船「海神丸」の就航を記念して、「海神丸お披露目式」が神戸大学深江キャンパス総合学術交流棟において開催されました。

藤澤正人学長より冒頭の挨拶があり、海神丸建造に御尽力いただいた関係者の方々へ感謝の言葉がありました。来賓の代表として、末松信介文部科学大臣、久元喜造神戸市長らの祝辞のあと、海神丸建造に携わった企業へ感謝状の贈呈が行われました。勝井辰博海洋底探査センター教授より海神丸の紹介が行われた後に、海神丸へ移動し、案内と記念撮影がありました。詳細は下記ページよりご覧ください。

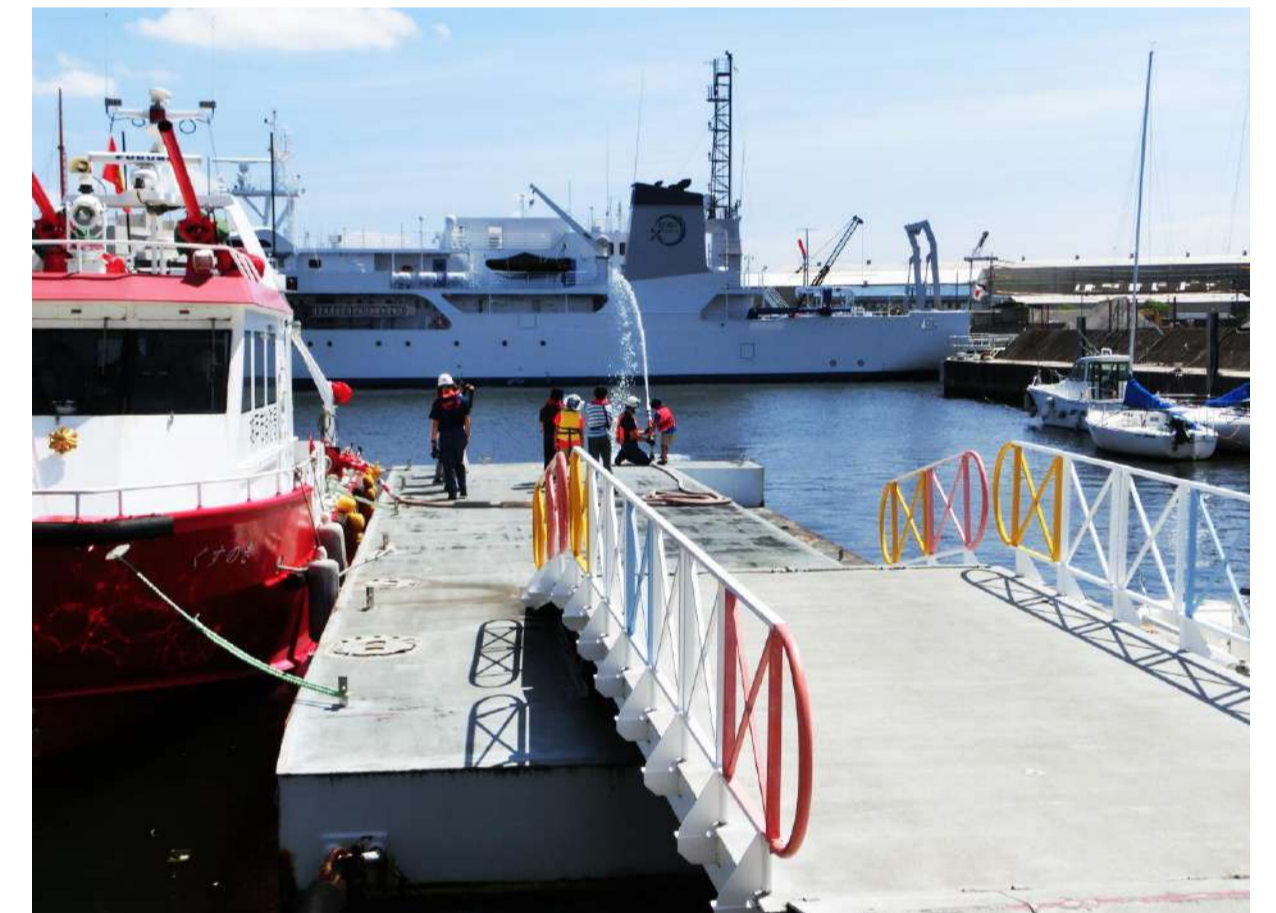
[https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2022\\_05\\_10\\_02.html](https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2022_05_10_02.html)



#### ②こどもいろいろ体験スクール／防災意識向上イベント

8月1日に神戸市東灘区との連携で行われたイベントで、海神丸の機能として災害時の活動支援があることを、東灘区在住者に積極的にPRしました。

当日は、神戸市水上消防署員による消防艇や消防資機材の見学、講義の他、実習船・白鷗への乗船体験、海事博物館の見学、操船シミュレータの見学・操船体験を行いました。



#### ③兵庫県立尼崎小田高等学校サイエンスリサーチ科生徒への研修

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定校となっている尼崎小田高等学校からの研修依頼に対応し、8月20日、サイエンスリサーチ科の生徒へ研修を行いました。附属練習船・海神丸の見学、海神丸の講義室で船長による講義、海洋観測についての体験学習、研究室見学を実施しました。瀬戸内海の災害として頻発する高潮の話などに生徒も熱心に耳を傾けました。



#### ④Ocean's 17 event（神戸市海洋人材育成プログラム）への協力

「Ocean's 17 event」は、神戸市内の海洋産業に携わる団体と連携し、海洋人材育成プログラムとして神戸市が開催する、高校生限定の体験型海洋イベントです。

第3弾の今回は、海洋政策科学部・神戸市・川崎重工業株式会社とが連携し、「SDGs 7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」をテーマとして、8月29日、深江キャンパスにて開催されました。

川崎重工業株式会社の手社員による、風車を作製し小型扇風機が設置された地図上に配置して風力発電量を競う「風力発電コンテスト」や、海洋政策科学部の教員による風力発電に関わる講義とともに、淡路島にある実際の施設からの中継も行われました。

また体験学習として研究科施設「総合水槽実験棟」の見学も行われました。



（9月20日に堀田弘樹センター長、石黒一彦副センター長からご説明いただいた内容に基づき記しました。文責は地域連携推進本部の松下にあります。）

## ■国際文化学研究科地域連携センターの設立経緯と活動

令和4年4月の国際文化学研究推進インスティテュート設立と同時に、地域連携センターが設置されました。

同インスティテュートのルーツにあたる異文化研究交流センター（平成18年設置）は、平成20年に地域連携部がアートマネジメント地域連携部（文化政策プロジェクト）と多文化共生地域連携部（地域連携プロジェクト）に再編されました。多文化共生地域連携部では、兵庫県国際交流協会との連携事業を行ったり、神戸市定住外国人支援センターや南あわじ市との連携にも事業を拡大し、平成21年には南あわじ市と包括連携協定を締結するに至りました。

平成26年には、異文化研究交流センターとメディア文化研究センター（平成20年設置）を統合した国際文化学研究推進センターが発足し、移住・多文化・福祉政策に関する研究拠点の構築に取り組んできました。他方で、地域連携においても取り組みの拡大は進み、神戸映画資料館や公益財団法人淡路人形協会といった地域の文化を支える学外諸団体との連携を深めてきました。平成29年に国際文化学部が発達科学部と統合され国際人間科学部が設置されてからは、それに呼応して、観光まちづくりといった国際文化学研究科にとって新しいテーマにも取り組みの幅を広げてきました。

こうした一連の取り組みの展開を踏まえ、令和4年4月、国際文化学研究推進センターは国際文化学研究推進インスティテュートに発展的に改組し、そのもとに移住・移民研究センターと地域連携センターを設置することになりました。国際文化学研究科地域連携センターは、グローバル化によって急速に変容する地域社会の諸課題に取り組むことで、他研究科の地域連携センターとは異なる独自性を発揮しています。



以下にこれまでの主な取り組みについて紹介いたします。

### ①人形浄瑠璃を通じた南あわじ市との連携

南あわじ市をフィールドに、特に淡路人形座と連携し、人形浄瑠璃を通じた交流事業を行っています。フィールドワークの一環として留学生が現地で体験学習を行ったり、淡路人形座のウェブサイトの英語版作成などに協力をしています。

### ②神戸映画資料館におけるフィルムアーカイブと活用

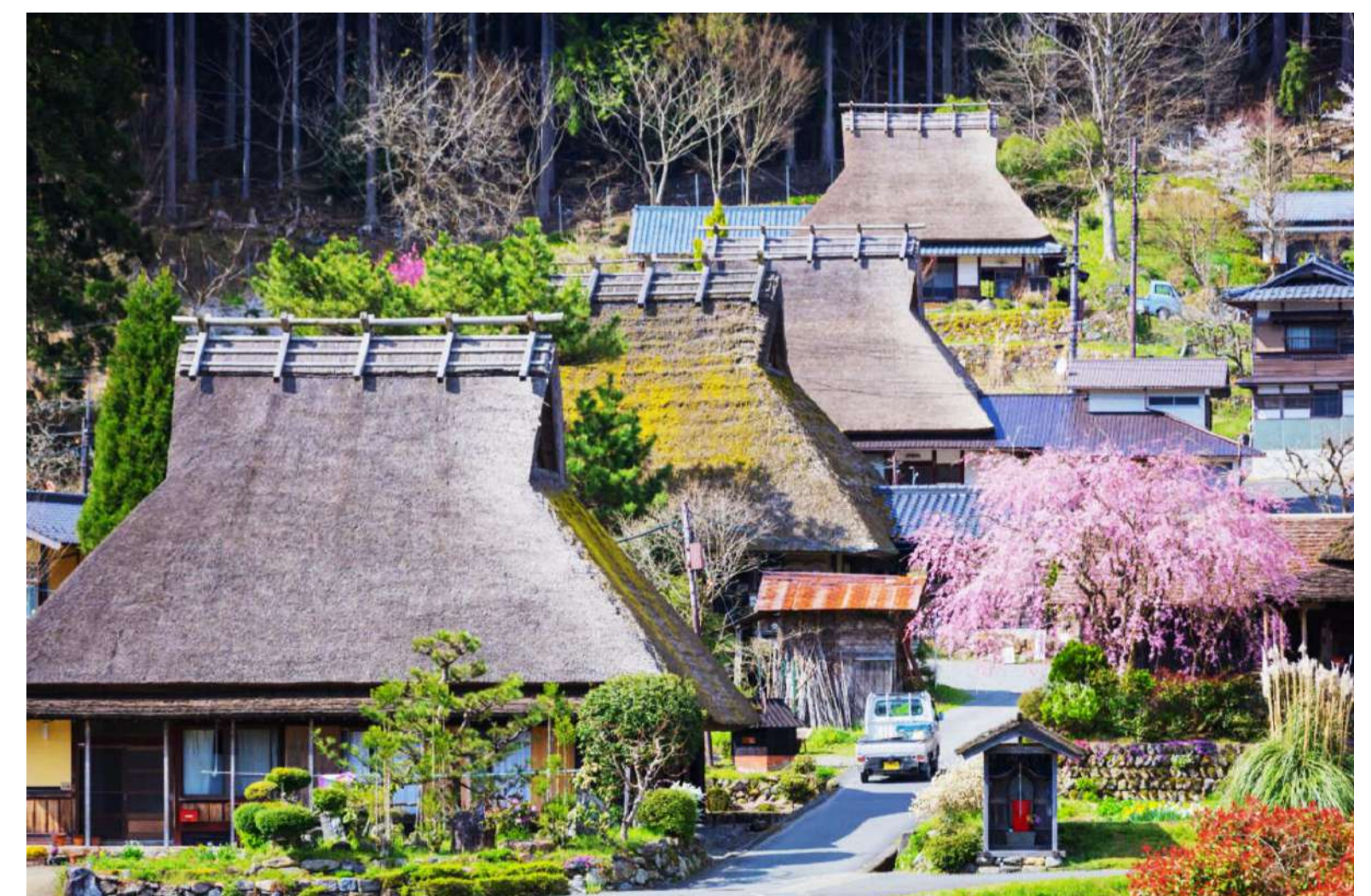
神戸関連の映像を収集する同館と連携し、地域映像の発掘や上映を行っています。毎年「神戸映画発掘祭」を開催し、プログラム立案や上映時の解説にも協力しています。



神戸映画資料館外観（神戸映画資料館 提供）

### ③京都府美山町（南丹市）観光まちづくり協会、神姫バスとの連携事業

京都府南丹市美山は国の重要伝統的建造物群保存地区である「かやぶきの里」を持ち、令和3年にはUNWTO（国連世界観光機関）が認定するベストツーリズムビレッジにも選ばれるなど、これまでインバウンドを含めた観光客を数多く集めてきました。近年は、京都府内で数少ない地域DMO（観光地域づくり法人）を設置し、本学卒業生が美山観光まちづくり協会の事務局長になるなど、卒業生が中心となって、来訪者の転換（量から質へ）をはかるべく、神姫バスとも連携しつつ、国内外からの教育旅行や個人旅行の誘客に取り組んでいます。また、留学生と学生チューターとともに、GSP実践型プログラムの一環として、観光まちづくりを学んだり、ラーニングツーリズムを行う取り組みも予定しています。



美山かやぶきの里 春  
（（一社）南丹市美山観光まちづくり協会 提供）

今後は、朝来市の生野鉦山PR動画作成への協力や、姫路市における留学生の日帰り研修ツアーや、官公庁や国際機関との連携についても計画しています。

（9月15日に板倉史明センター長、辛島理人副センター長、事務局長の井上弘貴先生からご説明いただいた内容や同センターHPに基づき記しました。文責は地域連携推進本部の松下にあります。）

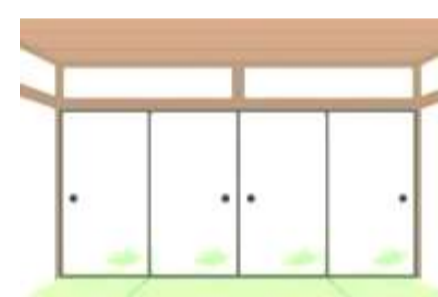
## 大分県中津市との連携事業を実施しました

令和4年9月5日（月）、大分県中津市にある東九州龍谷高等学校で、神戸大学大学院経済学研究科・小島理沙特命講師が、「SDGs12つくる責任つかう責任 資源循環を目指して」と題した出前講義を行いました。

今回の講義のテーマである「SDGs」は、東九州龍谷高等学校の希望に沿ったもので、当日は東九州龍谷高等学校の1、2年生全員と教職員、行政関係者など約500名が参加しました。生徒からは、「とても参考になった。これからの活動に活かしていきたい」などの感想がありました。



神戸大学と大分県中津市は、平成28年4月22日に連携協定を締結し、連携事業の一環として出前講義を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、今年度は3年ぶりの開催となりました。



令和4年8月23日（火）～27日（土）には、令和4年度中津市教育委員会アーカイブズ講座において、神戸大学地域連携推進本部の松下正和特命准教授が、セミナー「文化財レスキュー・襖下張剥がし」の講義と下張剥がし実習の指導を行いました。



## 活動報告（令和4年4月～9月）

4月	12日	大学	地域連携事業・学生地域アクションプラン公募開始
	28日	大学	地域連携推進本部定例会議
5月	19日	大学	地域連携推進本部定例会議
6月	1日	大学	第1回地域連携推進本部運営委員会
	13日	大学	ひょうご神戸学（第2クォーター）開講
	16日	大学	地域連携推進本部定例会議
	16日	大学	地域社会形成基礎論（第2クォーター）開講
7月	26～29日	大学	学生による災害ボランティア活動(東日本大震災地区)
	28日	大学	地域連携推進本部定例会議
	31日	大学	『令和3年度神戸大学地域連携活動報告書』の発行
8月	4日	大学	第2回地域連携推進本部運営委員会
	18日	大学	地域連携推進本部定例会議
9月	5日	大学	出前講義の実施（大分県東九州龍谷高等学校）
	15日	大学	地域連携推進本部定例会議